

サイエンスアゴラ 2015 (10 周年記念年次総会) 公募企画 募集要項



国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

開催までのおおまかなスケジュール（予定）

- 6 月1 日（金）正午** : 公募締切
- 6 月中** : 公募審査
- 6 月末** : 採否（内定）の連絡
- 7 月下旬～8 月上旬** : 企画提供者説明会（会場下見）
 : 企画提供者マニュアル配布
- 8 月中旬** : プログラムおよびウェブサイト掲載情報の提出
- 9 月 1 日（火）～** : サイエンスアゴラ 2015 ウェブサイトオープン
- 11 月 13～15 日** : サイエンスアゴラ 2015 開催

サイエンスアゴラ 2015（10 周年記念年次総会）の開催にあたって

科学技術振興機構は多様な科学コミュニティと連携し、今年も日本最大級の科学のイベント サイエンスアゴラ 2015(10 周年記念年次総会)を開催いたします。

サイエンスアゴラは、2006 年の開催以来、今回で 10 回目という節目の開催となります。この間、私たちは東日本大震災を経験し、科学と社会との関係を見つめ直す契機を得たにもかかわらず、専門家、事業者、行政、メディア、市民が、それぞれの世界に依然として閉じた傾向にあり、相互に関心が十分醸成されているとは言い難い状況です。科学とともにどのような未来社会を目指していくのか、関係者が自らの問題としてとらえ、周囲と対話・協働しながら判断を重ねていく基盤はいまだ形成されていないのではないのでしょうか。このことへの危機感を持つことこそが、私たちがサイエンスアゴラを必要とし続ける最大の理由です。

科学とともにある現代社会には、切実な動機に駆られ行動する人々がすでに多数います。震災からどう復興するか。エネルギー・資源や食料の持続可能性をどう確保するか。少子高齢化による社会的負担をどう克服するか。地球規模で進む温暖化や感染症のリスクにどう対応するか。そして新しい教育はどうありたいかー。様々な人々が力を合わせ、よりよい将来をつくろうと腐心する姿を目の当たりにされたこともあるでしょう。

2015 年はこれまで以上に、「行動を起こしている人々」に着目していきます。

サイエンスアゴラを、科学とともにある社会をつくろうと行動している人々が集まり、お互いの活動に関心を持ち、仲間を募り、発展させていく場とし、さらには「行動を起こそうとしている人」を巻き込む場にもしていきたいと思っています。

あなたの行動を、サイエンスアゴラで共有してください。みなさんの行動から科学と社会の「今」を浮かび上がらせましょう。互いに相手に学び合った時、一回り大きな価値が得られることを実感してほしいのです。私たちもみなさんから学びたいのです。

サイエンスアゴラで新しい価値が生まれ続けることを大いに期待します。

国立研究開発法人科学技術振興機構

理事長

中村道治

サイエンスアゴラ 2015（10 周年記念年次総会）

公募企画 募集要項

目次

サイエンスアゴラ 2015（10 周年記念年次総会）の開催にあたって.....	2
1. 概要	4
1. 1 開催趣旨	4
1. 2 サイエンスアゴラのビジョン.....	6
1. 3 サイエンスアゴラ 2015（10 周年記念年次総会）の話題.....	6
1. 4 開催概要	7
2. 応募要領	8
2. 1 採択予定企画数（目安）.....	8
2. 2 応募資格	8
2. 3 企画可能な日時.....	8
2. 4 応募から採択までのスケジュール.....	9
2. 5 応募方法	10
2. 6 企画形式	11
2. 7 事前申請事項.....	12
2. 8 注意事項	13
2. 9 会場利用料	14
2. 10 イベント保険.....	14
3. 審査	15
3. 1 応募企画の審査・結果通知.....	15
3. 2 選考基準	15
4. その他	17
4. 1 個人情報の取り扱い.....	17
4. 2 お問い合わせ.....	17
付録 1：サイエンスアゴラとは何か.....	18
付録 2：サイエンスアゴラ 2015（10 周年記念年次総会）企画応募フォーム.....	21
付録 3：サイエンスアゴラ企画タイトル・企画提供者名の表記の統一ルール.....	27

1. 概要

1. 1 開催趣旨

§ サイエンスアゴラとは

サイエンスアゴラは、あらゆる人に開かれた科学と社会をつなぐ広場の総称です。この広場は、異なる分野、セクター、年代、国籍を超えた関係者を結んで私たちが主体的に推進する個々の活動の場です。この広場に集まる私たちは多様な価値観を認め合いながら力を合わせてこれからの科学とともにある社会をつくります。

§ サイエンスアゴラ 2015(10 周年記念年次総会)への期待

サイエンスアゴラの 10 周年記念大会として、サイエンスアゴラ 2015(10 周年記念年次総会)を開催します。

これからのサイエンスアゴラは、従来以上にますます、科学と社会の対話促進のためのプラットフォームとして機能し、サイエンスコミュニケーションを通じた科学と社会の協働による「価値共創」を目指します。

それに当たり、サイエンスアゴラ 2015(10 周年記念年次総会)では企画提供者・来場者を「行政」、「専門家」、「事業者」、「メディア」、「市民」の5つのセクターに分類しました。それぞれが異なる役割を担い、それぞれの立場で社会と科学をつなげることを期待しています(表1 参照)。

表1 想定される期待

セクター	企画提供者としての期待	来場者としての期待
行政(政策立案者など)	・自分達が実施している政策・今後策定していく政策への専門家、事業者、メディア、市民の意見を聴きたい ・政策に関して、専門家、事業者、メディア、市民の疑問に応えたい ・若手の行政分野でのキャリア開発に貢献したい	・専門家、事業者、メディア、市民の活動を見て自分の政策立案・実施に役立つ新しい洞察、共感、仲間を得たい ・自分の行政分野での経験を活かした新しいキャリア開発を考えたい
専門家(研究機関・大学の研究者、学校教員など)	・自分の取り組みを他の分野の専門家、行政、事業者、メディア、市民に理解してもらい、新しい洞察、共感、仲間を得たい ・自分の専門分野に関して、行政、他分野の専門家、事業者、メディア、市民の疑問に応えたい ・若手の専門家としてのキャリア開発に貢献したい	・自分の研究分野以外の分野での取り組みも知りたい(異分野交流) ・行政、事業者、メディア、市民の取り組みも知りたい(異業種交流) ・自分の新しい研究の方向性について、洞察、共感、仲間を得たい ・自分の専門家としての経験を活かした新しいキャリア開発を考えたい
事業者(製造業者、サービス業者など)	・自分の取り組みを他の分野の専門家、行政、事業者、メディア、市民に見てもらい、新しい洞察、共感、仲間を得たい ・自分のビジネスに関して、行政、専門家、他の事業者、メディア、市民の疑問に応えたい ・若手のビジネス分野でのキャリア開発に貢献したい	・行政、専門家、他の事業者、メディア、市民の活動を見て自分のビジネスに役立つ新しい洞察、共感、仲間を得たい ・自分のビジネス経験を活かした新しいキャリア開発を考えたい
メディア	・自分の取り組みを他の分野の専門家、行政、事業者、他のメディア、市民に見てもらい、新しい洞察、共感、仲間を得たい ・メディアに関して、行政、専門家、事業者、他のメディア、市民の疑問に応えたい ・若手のメディア分野でのキャリア開発に貢献したい	・報道の素材を発掘したい ・行政、専門家、事業者、他のメディア、市民の活動を見て自分の仕事に役立つ新しい洞察、共感、仲間を得たい ・自分のメディア分野での経験を活かした新しいキャリア開発について考えたい
市民	・自分の取り組みを他の分野の専門家、行政、事業者、メディア、他の市民に見てもらい、新しい洞察、共感、仲間を得たい ・自分が関わる市民活動に関して、行政、専門家、事業者、メディア、他の市民の疑問に応えたい ・若手の市民活動におけるキャリア開発に貢献したい	・行政、専門家、事業者、他のメディア、市民の活動を見て自分に役立つ新しい洞察、共感、仲間を得たい ・自分の市民活動の経験を活かした新しいキャリア開発について考えたい

1. 2 サイエンスアゴラのビジョン

サイエンスアゴラの将来あるべき姿を示すものとして、ビジョンを次のように設定しました。

つくろう、科学とともにある社会

1. 3 サイエンスアゴラ 2015（10 周年記念年次総会）の話題

サイエンスアゴラ 2015（10 周年記念年次総会）では、以下の話題を設定します。（なお、公募する企画はこれらの話題に限定しません。）

① 「ひかり」を通して見る人類の歩みと未来～原始から原子まで～

今年は国際光年です。「ひかり」を通して人類の歩みを振り返ると、私たちに新たな視野が与えられます。原始時代に暗闇を照らす火の利用は人類に大きな力を与えました。また、天文や通信、エネルギー、さらに芸術の分野でも、人類は「ひかり」を様々な活用し、喜びや悲しみを生み出してきました。

「ひかり」を通して将来を考えてみませんか。社会に新しい展望を与える取り組みを集めます。

② サイバー社会とは何か？

私たちが直面する「サイバー社会」とは、どのような社会なのでしょう？ 技術の発展により私たちの日常生活は否応なく変化していきます。これからの産業、社会制度、生活をどのように変えていきたいのか、私たち一人ひとりの意志が問われています。

「マイナンバー」が通知される今年、サイバー社会の展望について一緒に議論し、行動につなげましょう。社会の構造変革を先取りした、新しい思想や哲学を持った動きを集めます。

③ 2020 年の社会をつくる～第5期科学技術基本計画が目指すもの～

2020 年はどのような社会になっているのでしょうか。震災からの復興や東京オリンピックなど、5 年後の日本の姿について、一緒に想いを馳せてみませんか。

2016 年から 2020 年までの第5期科学技術基本計画が来年、閣議決定される予定です。科学技術の飛躍的な進展とグローバル化による大変革時代を先取りして、科学とともにある社会をつくろうとする取り組みを集めます。

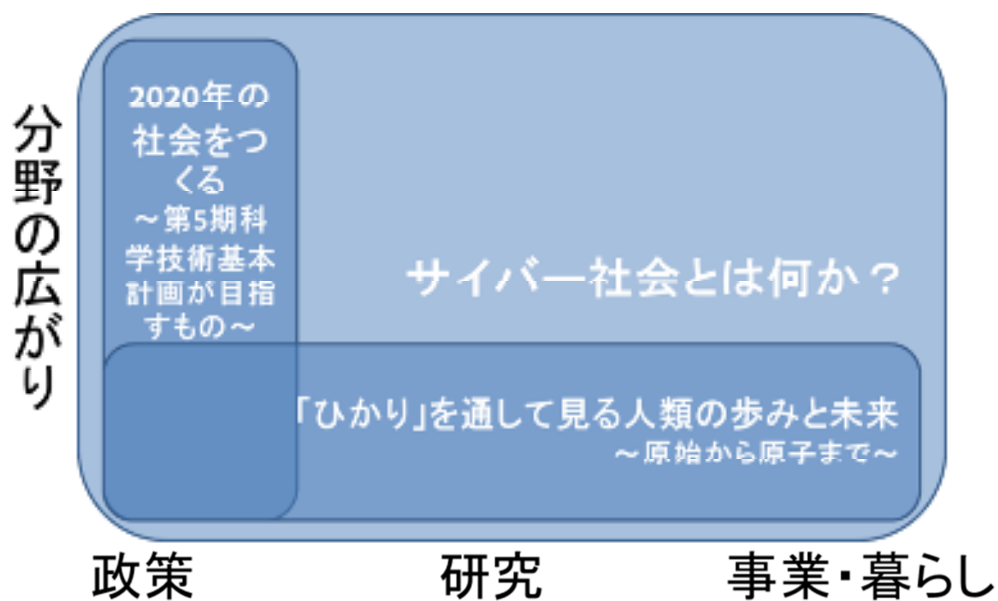


図1 各話題の関係性

1. 4 開催概要

- (1) 日程 : 2015年11月13日(金)、14日(土)、15日(日) 各日 10:00ー17:00
- (2) 主催 : 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
- (3) 会場 : 東京お台場地域
(それぞれの企画の配置は、サイエンスアゴラ事務局が決定します)

2. 応募要領

2. 1 採択予定企画数（目安）

採択予定企画 …… 120 企画程度（展示 85 企画、セッション形式 35 企画を目安とします）

2. 2 応募資格

法人格の有無は問わず、あらゆる個人、グループ・団体（NPO 法人、任意団体、研究機関、大学等）など、どなたでも応募することができます。

ただし、所属するグループ・団体名で応募される場合、サイエンスアゴラへの企画提供につき、グループ・団体の責任者の承諾を得た上で行うものとします。また、企画提供の権利はグループ・団体が有するとし、提案者（個人）と所属するグループ・団体に意見の相違があった場合には、グループ・団体の意見を優先することとします。

2. 3 企画可能な日時

公募による企画の実施が可能な日時は、原則として以下の 2 日間です。

11 月 14 日（土） 10:00～17:00

11 月 15 日（日） 10:00～17:00

サイエンスアゴラ 2015（10 周年記念年次総会）の開催期間は、11 月 13 日（金）、14 日（土）、15 日（日）の 3 日間ですが、13 日（金）は、オープニングイベントを含むサイエンスアゴラ主催者の企画を中心に実施します。

このため公募企画の実施は、11 月 14 日（土）、15 日（日）の 2 日間とします。

なお、企画内容の特性などにより、11 月 13 日（金）へのご参画を打診する可能性もありますので、ご協力よろしくお願いします。

2. 4 応募から採択までのスケジュール

(1) 企画応募

- オンライン応募フォームにて、企画に応募していただきます。

応募締め切り 6 月 1 日(金)正午

- 期日が過ぎますと応募できません。また、締め切り間際になりますとオンライン応募フォームへのアクセスが集中して繋がりにくいことも予想されます。応募には時間の余裕を持っていただきますようお願いします。

(2) 審査結果発表(採択)

- 応募いただいた企画については、外部の有識者等から構成される委員会が応募内容に基づいて審査選考し、施設面での許容量もふまえて採否を決定します。
- 審査結果は、6 月末に発表する予定です。
- 決定した企画をもとに事務局が会場計画を検討します。なお、配置の際に企画内容の変更をご相談する場合があります。

表2 応募・審査のながれ

内容	スケジュール
応募締め切り	6 月 1 日(金)正午締め切り (オンライン応募フォームにて登録内容の送信を完了)
審査・プログラム調整	6 月中
審査結果連絡(採択可否)	6 月末

2. 5 応募方法

サイエンスアゴラ公式ウェブサイト(<http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/>)へアクセス後、案内に従って指定のオンライン応募フォームへ必要な項目の内容をご記入ください

(1) アクセス後の手順

- ① オンライン応募フォームへアクセスします。
(<https://scienceagora.smktg.jp/public/application/add/1> からたどります)
* 初回使用時は新規会員登録が必要です。
- ② ご自分(団体)の企画内容をオンライン応募フォームに記入していきます。
(記載項目は本募集要領の付録2をご覧ください。)
- ③ 最後に、完了ボタンを押して、応募内容を送信します。

(2) 登録にあたり

- 企画提供者名・企画タイトルの表記に関する統一ルールがあります。詳しくは、本募集要項の付録3をご覧ください。
- オンライン応募フォームに登録していただく内容は、審査・会場計画に用いる重要な情報となりますので、できるだけ具体的にご記入ください。
- オンライン応募フォームにて、完了ボタンを押さずに、途中でページを閉じてしまうと応募データは保存されませんのでご注意ください。
また、送信ボタンを押すまでは、応募内容はサイエンスアゴラ事務局へ送信されません。
- 郵送での受付はいたしません。
- 一度、オンライン応募フォームにて送信した登録内容は、募集期間内はマイページからご自身で確認・修正ができます。

2. 6 企画形式

企画の形式は、セッション形式とブース形式に大別されます。詳細は以下の表3をご覧ください。

表3 企画形式ごとに設定されている提案の枠組み

企画形式	セッション形式 時間で区切った決まった時間内に実施する形態で、講演会、シンポジウムなどを実施	ブース形式 サイエンスアゴラのオープン時間からクローズ時間までの間、来場者がいつでも立ち寄れるブースを設置し、終日実施する形態で、展示、実験・工作・ポスター発表などを実施
バリエーション	シンポジウム・トークセッション シンポジウム、セミナーなど演壇・講演台でのプレゼンテーションをシアターもしくはスクール形式の会場で行う 対話型ワークショップ・サイエンスカフェ 小グループに分かれてのディスカッション、サイエンスカフェ、参加者の作業を伴う講習会・ワークショップなど、会場利用をフレキシブルに行う サイエンスショー・上演・演示 サイエンスショー、実験ショー、科学映像上映会など(それらと講演などを組み合わせたものを含む)で、ステージ等でのプレゼンテーションを基本とする その他 上記分類に分類不可能な斬新な提案も歓迎	ポスター発表 A0版程度の大きさが1枚掲示(タテ掲示)できるスペースでポスター前にて来場者とコミュニケーションをとる ※ブースの標準スペース”3m(奥行き)×4m(幅)”内で、他の企画提供者と共同で掲示 展示・実演・説明 標本展示、成果品の展示・実演、展示物の説明など同一の場所で不特定多数の来場者とコミュニケーションをとる 実験・工作 期間中流動的に会場に出入りする不特定多数の来場者を対象に、実験や工作を行う その他 上記分類に分類不可能な斬新な提案も歓迎
スペース(ブースまたは会議室)／所要時間	標準時間 3時間(準備・片付け含む) 会議室のような閉じた空間で実施する方法 収容人員、所要時間に合わせて会場を構成	標準スペース 奥行き3m×幅4m オープンなスペースをパネルで区切って実施 必要なスペースを確保して、実施
企画可能日時	時間単位 企画の実施内容・体制にあわせて選択	1日単位 企画の実施内容・体制にあわせて選択

2. 7 事前申請事項

以下の事項について該当するものがある場合は、企画応募時に必ず申請してください。申請がないものについては、企画実施を中止いただく場合があります。また、申請いただいても許可できないこともあります。

(ア) 火気・熱源・劇物・危険物(含む液体窒素)・大量の水の利用

- 会場にて実験・実演(体験型含む)などを実施する際、高電圧、高圧ガス、火気、床を濡らす可能性のある量の水、薬品等の使用は原則ご遠慮いただきます。
- これらの使用が不可避である場合は応募時に明記してください。(のちに個別の相談となります。) また、企画提供者ご自身で管轄の消防署等に届け出ていただく場合があります。

(イ) 大量の電気の使用

- 電気製品を使用する場合で、100V、1000W を超える可能性がある場合は、応募時に明記してください。(基本電源:コンセント1 個口 1000W まで)
- 基本電源を超える場合には、有償となる可能性があります。

(ウ) 生き物の持ち込み

- 会場に生き物を持ち込んでの企画を検討されている場合は、応募前にご相談の上、応募フォームに明記してください。夜間は会場内に保管できません。

(エ) 来場者からの参加費の徴収

- 実費の範囲内に限り、来場者から参加費を徴収しても差し支えありません。徴収する予定がある場合は、応募フォームに明記してください。

(オ) 飲食物の提供

- 飲食物の提供を希望される場合は、応募時に明記してください。
- 企画提供者ご自身で管轄の保健所に届け出ていただく場合があります。

(カ) 物品の販売

- 営利を目的としない範囲に限り、書籍やサイエンスグッズ等の販売についてご相談を承ります。希望される場合は、応募フォームに明記してください。
- 販売は会場内の決められた場所および時間で行ってください。会議室やブースでの販売は原則としてできません。

(キ) 音・光・におい等の発生

- 音・光・におい等が発生するおそれがある場合は、応募フォームに明記してください。近隣ブース等への影響に配慮していただきます。内容により、実施困難と判断される場合がございます。

(ク) インターネット接続

- 企画にインターネット接続が必要な場合は、応募フォームに明記してください。インターネット接続にかかる費用は原則として企画提供者のご負担・手配になります。

(ケ)天井構造の設置

- 暗室を作る等の目的で、天井構造を設置することはできません。

2. 8 注意事項

(1)安全管理

- 企画実施にあたり、常に管理者として注意を払い、事故防止には十分留意してください。各企画において常時1名以上人員を配置し、安全を確保いただきますようお願いいたします。事故・トラブルがあった場合、会場施設は責任を負いません。

(2)設営・撤去時間

- ブース形式の場合、設営 9:00～10:00、撤去 17:00～18:00 を計画しています。
- セッション形式の場合、定められた枠内(通常3時間)で準備・撤去を行ってください。(開始前設営60分、企画実施1時間30分、撤去30分が標準)
- 詳細は、採択決定後、別途お知らせいたしますが、準備に特に時間が必要な場合は、応募時に必ず申請してください。

(3)事前参加登録

- 公募企画の企画提供者自身により、事前に各企画の参加者を受付しても差し支えありませんが、当日参加枠や見学スペースなどを確保するなど、当日の来場者への配慮もお願いします。

(4)記録協力

- 開催当日、主催者等がインターネットや雑誌等での公表を目的とした記録(動画・静止画)や中継(映像・テキスト等)を行う場合があります。
- 企画提供者は登壇者・参加者へ周知し、著作権・肖像権等について了承を得ていただくようお願いします。

(5)調査協力

- 主催者が行う調査(アンケート調査や追跡調査)にご協力をお願いします。
- 本年も「サイエンスアゴラ賞」授賞を予定しています。投票へのご協力をお願いします。

(6)調整協力

- 企画全体のバランスおよび内容の充実を企図して、複数提案機関の連携、企画形式および企画内容の変更などをお願いする場合があります。なお、採択決定後に応募内容と乖離した実施計画の変更は認められません。

(7) 企画実施の中止

- 以下にあてはまる企画は、採択決定後であっても、中止していただきます。
 - ① 営利を主たる目的とする企画
 - ② 政治的、宗教的アピールのみを目的とする企画
 - ③ 特定の団体の構成員・会員のみを参加対象とする企画
 - ④ 実現性が極めて低いと判断される企画
 - ⑤ その他主催者がふさわしくないと判断する企画

(8) その他

- 来賓の見学や報道機関関係者の取材への協力をお願いすることがあります。
- 安全かつ円滑な運営のため、トラブル等が生じた場合にはサイエンスアゴラ運営事務局の指示に従い、ご協力をお願いします。
- 企画実施に当たり発生したごみは各自お持ち帰りください。

2. 9 会場利用料

会場利用料は原則無料です。材料費、会場までの交通費、宿泊費等一切の費用は企画提供者でご負担ください。また、備品等の手配は、会場備え付けの机・椅子・基本電源を除き有償になります。

2. 10 イベント保険

主催者は、来場者・企画提供者等に対するイベント傷害保険に加入します。

3. 審査

3. 1 応募企画の審査・結果通知

応募いただいた企画は、外部の有識者等から構成される推進委員会が厳正に審査します。審査結果により会場の許容量の範囲(120 企画程度)で企画を採択します。その際、関連した他の企画と合同で実施する条件を提示させていただく場合があります。

採否については、6 月末に、事務局から申請者宛に通知いたします。

企画の詳細に関しては採択後にお伺いいたします。このときに、応募時の狙いや内容から大幅な乖離があると判断される場合には、事務局から調整させていただきます。

3. 2 選考基準

応募された企画提案は、以下の基準に基づき選考します。

A 企画の内容

年次総会のための企画というよりもむしろ、企画提供者が目指す目的に向かって取り組む活動を年次総会で共有するという趣旨の企画を歓迎します。新しいアイデア、共感、仲間を募りたいという動機を高く評価します。具体的な評価項目は以下のとおりです。なお、1. 3の「話題」との関連性は選考基準とはなりません。

(1) 科学技術に関すること

科学技術の発展や利活用に関する内容を含む企画であること。波及効果が大きいものや時宜を得たものを高く評価。

(2) 社会とともにあること、社会のためにあること

社会の中にある科学技術について、よりよい社会のために企画されたものであること。社会との関係性がより具体的で明確なものを高く評価。

(3) 自発的であること

企画提供者及びその関係者が、自発的に企画して取り組んでいるものであること。問題設定が具体的で、その活動に必然性があるもの(サイエンスアゴラ年次総会の有無に関わらず取り組む必要があるもの)を高く評価。

(4) 多様な人とのつながりを大切にすること

人とのつながりを大切にすること。つながる対象者が、分野、年代、セクター、国籍といった観点から幅広いものを高く評価。

(5) 公開できること

企画は、各種メディアを通じて公表されます。このため、企画が公開できることを条件とします。企画のエッセンスが公開されれば一部非公開であってもかまいません。

B 企画の実現性

企画を実施するにあたり、必要な組織、人員を配置した体制が構築され、無理なく運営できる実施体制が整い、実施する活動の安全に十分な配慮がなされているもの、および企画の説明が具体的なものを高く評価します。

4. その他

4. 1 個人情報の取り扱い

(1)応募の際にご記入いただく連絡先等の個人情報は、サイエンスアゴラ実施に関わる事務連絡やご案内のみに使用し、本人の許可無く第三者へ提供することはありません。ただし、応募時にご同意いただいた場合は、次の用途に利用させていただきます。

- ①JST の科学コミュニケーション関連事業の各種ご案内等
- ②他機関等からの科学コミュニケーション関係のご案内等
- ③JST の科学コミュニケーション事業の調査・研究等への活用
- ④報道機関等への連絡先の開示

その他の事項については、国立研究開発法人科学技術振興機構のプライバシーポリシーを準用し、適切に取り扱います。

※科学技術振興機構のプライバシーポリシー：

<http://www.jst.go.jp/privacy.html>

(2)登録には、外部サイト「企画管理システム」を利用します。同サイトのプライバシーポリシーは以下の URL で確認し、同意の上ご登録ください。

※サイエンスアゴラ企画管理システムプライバシーポリシー：

<http://www.shanon.co.jp/privacy/>

※サイエンスアゴラ企画管理システムの利用規約

http://www.shanon.co.jp/support/downloadDocument/SMP_TermsOfUse.pdf

4. 2 お問い合わせ

- (1)本案内と公式ウェブサイトをご確認いただいた上で、ご不明な点は電子メールにてお問い合わせください(電子メール：agora@jst.go.jp)
- (2)緊急のお問い合わせは、電話 03-5214-7625 でもお受けいたします。

担当： 科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター
サイエンスアゴラ事務局 嶋田、金子、鈴木

付録 1 : サイエンスアゴラとは何か

§ サイエンスアゴラ 開始時からの目的

2006 年、国立研究開発法人科学技術振興機構（以下「JST」という）は、以下の3つの目的を掲げ、サイエンスアゴラをはじめて実施しました。

- (1)サイエンスコミュニケーション活動を集結して一つの場で行うことで、社会に対して認知をはかり、人々が参加するきっかけとする
 - ー サイエンスが社会と交流し、対話する「広場（アゴラ）」となります
- (2)研究機関・ファンディングエージェンシー・科学技術広報・科学館など科学技術に関係を持つ様々なセクションが交流を図ることで、研究活動、コミュニケーション活動がより円滑に行われるようにする
 - ー サイエンスを担う多様な人々の間の対話を促す「広場（アゴラ）」となります
- (3)日本全国のサイエンスコミュニケーターが結集する機会をつくることで、お互いの活動をともに知り合い、全体として活性化する機会とする
 - ー 日本中のサイエンスコミュニケーター達が集い議論する「広場（アゴラ）」となります

この目的でサイエンスアゴラを実施した状態を図式化したものが、図2であり、様々なセクション間でサイエンスコミュニケーションが行われている状態を表しています。



図2 サイエンスアゴラ概念図(サイエンスアゴラ 2006 開催報告書より)

2015 年においてもこれらの目的は変わりません。

§ サイエンスコミュニケーションとは

「サイエンスコミュニケーション」とは誰が何を目的としてどのように担っていく活動でしょうか。サイエンスコミュニケーションが何を意味しているのかは、サイエンスに携わるそれぞれの立場により多様です。サイエンスアゴラの主催者であるJSTはサイエンスコミュニケーションを、「グローバル化の進行により国境を越えてひとつにつながっていく世界において、『社会における、社会のための』営みであるべき科学技術を発展させ、社会の中で有効に活用し、あらたな価値を創出するために、あらゆる人々が協働に向けて、それぞれの立場から科学技術の研究活動や成果、その多様な意味をめぐって情報を共有し、対話すること」と定義しています。

サイエンスアゴラ 2014 では「あなたと創るこれからの科学と社会」をテーマとして掲げ、それを達成する手段として「(a) 科学技術に関わる多様な人々の参加」と「(b) 研究コミュニティの更なる巻き込み」の2つを掲げました。2014 においてそれらの手段は一定程度機能しましたが、科学が社会に根付き、「社会における、社会のための」科学となりえているのか、現状はまだ道半ばであり、サイエンスコミュニケーションが果たすべき役割はまだまだ大きいと思われます。

§ サイエンスアゴラの再定義

これまでサイエンスアゴラは、科学技術振興機構が年 1 回主催する科学イベントの名称でした。しかし、科学と社会の関係をさらに深めるためには、科学と社会をつなぐ場、機会が定常的に必要です。年に1回、科学技術振興機構が主催するだけでは全く不十分です。そこで私たちは、サイエンスアゴラのビジョンを体現する皆さんの活動すべてを「サイエンスアゴラ」と総称することにしたいと思います。私たちは、全国各地で行われている多様な「サイエンスアゴラ」を可視化するプラットフォーム(当面はウェブサイトと年次総会)を構築し、科学とともにある社会の期待を広く共有します。

[サイエンスアゴラのビジョンを体現する活動の要件]

- (1) 科学技術に関すること
- (2) 社会とともにあること、社会のためにあること
- (3) 自発的であること
- (4) 多様な人とのつながりを大切にすること
- (5) 公開できること。

プラットフォームの一部として、年に 1 回、年次総会(「サイエンスアゴラ 20xx」と表

記します)を開催します。この年次総会はサイエンスアゴラ関係者が主催・共催し、あらゆる人に開かれます。アトラクション、展示、シンポジウムやワークショップなどを企画して、サイエンスアゴラ関係者がその年の活動やその成果を持ち寄り、それぞれの活動を発展させる新しいアイデア、共感、そして仲間を募ります。この場が良質なサイエンスコミュニケーション活動の場となっていくことを期待します。

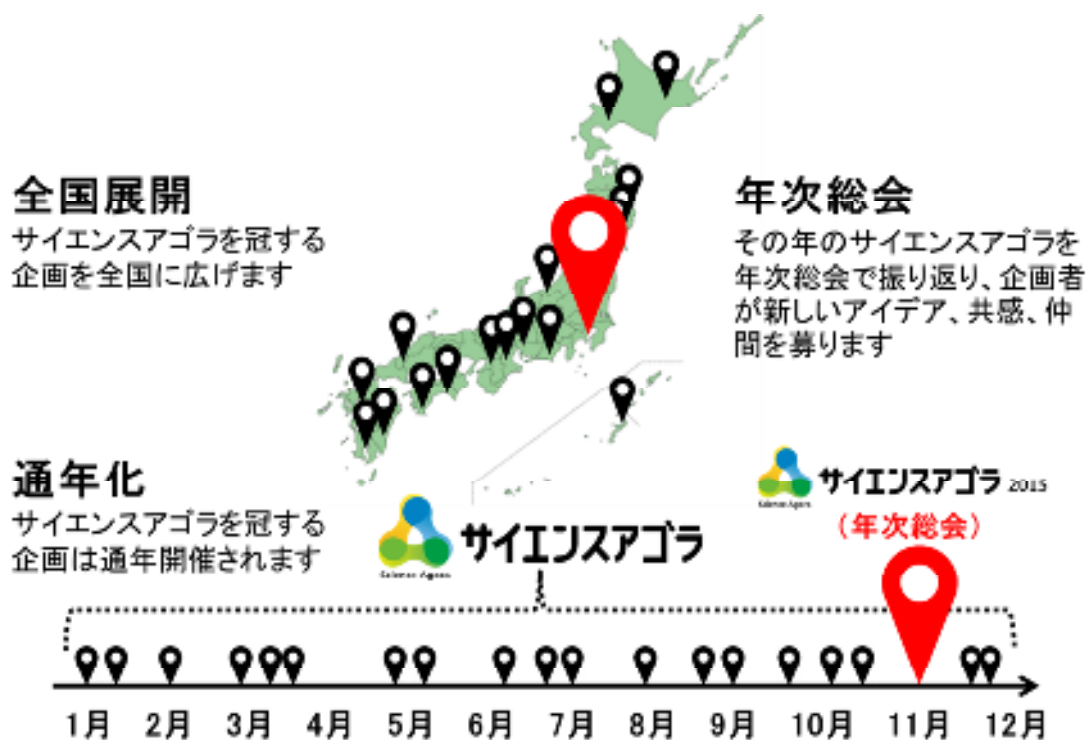


図3 全国展開し、通年化しているサイエンスアゴラのイメージ

付録2：サイエンスアゴラ 2015（10 周年記念年次総会）企画応募

フォーム

番号	項目	質問	必須	タイプ	選択肢
1	企画提供者の名称	企画提供者の名称を記入ください。（全角 25 字以内） この名称がプログラム等へ掲載されます。字数に超過がある場合、掲載時に削除される場合があります。	*	テキスト	
2	企画提供者の種別	今回のご応募は、個人かグループ・団体かを選んでください。	*	ラジオボタン	個人 グループ・団体
3	企画提供者の属性	企画提供者の属性を選択肢から1つを選んでください。該当がない場合は「その他」を選択し、具体的に記入ください。	*	ラジオボタン	研究者・大学・研究機関・学協会等 政策決定者・政府・地方公共団体・行政機関等 科学館・博物館等 企業・営利団体等 教育関係者・学校・教育委員会等 メディア関係者等 NPO・ボランティア（個人・団体）等 その他
4	企画提供の実績	過去のサイエンスアゴラでの企画提供の実績があれば、その年を選んでください。		チェックボックス	2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014

5	企画提供 責任者の 氏名	企画提供の責任者の氏名を記入ください。 採否通知等、サイエンスアゴラ事務局からの文書通知は責任者宛となります。	*	テキスト	
6	企画提供 責任者の 所属	企画提供の責任者の所属を記入ください。 正式な法人名（法人格を含む）を記載ください。	*	テキスト	
7	企画提供 責任者の 役職	企画提供の責任者の役職を記入ください。	*	テキスト	
8	企画のタイ トル	企画のタイトルを記入ください。 （全角 25 字以内） この名称がプログラム等へ掲載されます。字数に超過がある場合、掲載時に削除される場合があります。	*	テキスト	
9	企画の内 容	企画の内容をわかりやすく記入ください。（全角 300 字以内） 選考基準 A 規格の内容 に合わせて記載してください。	*	テキスト エリア	
10	企画の対 象	企画が対象とする相手として、特に重視する者を選んでください。（複数回答可）	*	チェック ボックス	小学生以下 中学生 高校生・高専生 大学生・大学院生 大人（行政） 大人（専門家） 大人（事業者） 大人（メディア） 大人（市民） その他
11	企画の目 的	企画提供の目的を記入ください。（全角 300 字以内）	*	テキスト エリア	

12	話題との関係	サイエンスアゴラ 2015 の話題に合致する場合は、該当する話題を選んでください。 話題との関係は審査には影響しません。		ラジオボタン	「ひかり」を通して見る人類の歩みと未来～原始から原子まで～ サイバー社会とは何か？ 2020 年の社会をつくる～第 5 期科学技術基本計画が目指すもの～
13	企画の実現性	必要な組織、人員配置、役割を記載してください。 選考基準 B 企画の実現性にあわせて記載してください。	*	テキストエリア	
14	企画提供に関する団体	企画提供に関係する団体・関係機関等があれば、記入ください。(共催・後援・協賛・協力など)		テキストエリア	
15	企画の参考となるホームページ	ご応募いただく企画の参考になるホームページがあれば、アドレスを記入ください。		テキスト	
16	企画の形式	企画の形式を選んでください。 1つの企画の中で複数の形式を組み合わせる場合は、形式を複数選んでください。 選択肢以外の場合は「その他」を選択し、具体的に説明してください。	*	チェックボックス	シンポジウム トークセッション 対話ワークショップ サイエンスカフェ サイエンスショー 上演・演示 ポスター発表 展示・実演・説明 実験・工作 その他
17	企画の場所	企画を設置または実施する場所の希望を選んでください。	*	ラジオボタン	フロア(基本ブース利用) 会議室 屋外 その他

18	企画の必要スペース (フロア希望)	実施場所としてフロアを希望する場合、必要とするスペースを記入ください。 基本ブースは、(奥行 3m×幅 4m)を 1 単位とし、原則として 1 企画あたり 2 単位までとします。 企画の配置計画により、利用スペースの縮小をお願いすることがあります。		テキスト	
19	企画の所要時間(会議室利用希望)	実施場所として会議室を希望する場合、企画の実施に必要な時間を記入ください。 必要時間は、企画そのものだけでなく、設営 60 分および撤収 30 分を加えた値としてください。		テキスト	
20	企画の会場規模(会議室利用希望)	実施場所として会議室を希望する場合、企画で想定する会場規模を 1 つ選んでください。		ラジオボタン	40 名以下規模 40 名～80 名程度規模 80 名～100 名程度規模 200 名以上規模 その他
21	企画の必要スペース (屋外利用希望)	実施場所として屋外を希望する場合、企画の実施に必要なスペースを記入ください。		テキスト	
22	企画提供の可能日時	企画提供が可能な日時をお選びください。 ブース形式の場合は、午前と午後両方を選択してください。	*	チェックボックス	11 月 13 日(金)午前 (10:00-13:00) *企画提供の調整をお願いする場合があります。 11 月 13 日(金)午後 (13:00-17:00) *企画提供の調整をお願いする場合があります。 11 月 14 日(土)午前 (10:00-13:00) 11 月 14 日(土)午後

					(13:00-17:00) 11 月 15 日(日)午前 (10:00-13:00) 11 月 15 日(日)午後 (13:00-17:00)
23	企画の特 別事項	次の特別事項がある場合は、 該当する項目をチェックの上、 その他詳細欄に具体的な内容 を記入ください。(火気・熱源、 劇物・危険物の種類、水や電気 の予定使用量、生き物の種類、 等)	*	チェック ボックス	火気・熱源の使用 ※種類を詳 細欄に記入ください 劇物・危険物(含液体窒素)の 使用 ※種類を詳細欄に記入 ください 水の使用 ※予定量を詳細欄 に記入ください 大量の電気使用(100V、 1000W 以上) ※予定量を詳細 欄に記入ください 生き物の持ち込み ※種類、 数量を詳細欄に記入ください 参加費の徴収 ※予定金額を 詳細欄に記入ください 飲食物の提供 ※内容を詳細 欄に記入ください 物品の販売 音の発生 光の発生 においの発生 インターネットの使用 その他または特別事項の詳細
24	特記すべ き事項	全体を通じて、サイエンスアゴ ラ事務局に申請、連絡する事 項があれば、こちらにご記入く ださい。		テキスト エリア	
25	個人情報 扱い(1) JST からの	ご応募にあたり登録いただいた 個人連絡先に、JST 事業の各 種ご案内等をお送りしてもよろ	*	ラジオ ボタン	はい いいえ

	ご案内	しいですか。			
26	個人情報 (2)他機関 からのご案内	ご応募にあたり登録いただいた 個人連絡先に、他機関等から 依頼された科学コミュニケーションに 関係する各種ご案内等をお送りし てもよろしいですか。	*	ラジオ ボタン	はい いいえ
27	個人情報 (3)調査研 究目的の 利用	ご応募にあたり登録いただいた 個人情報を、JST 科学コミュニ ケーション事業の調査研究等 の目的に利用してもよろしいで すか。	*	ラジオ ボタン	はい いいえ
28	個人情報 (4)プレス への情報 提供	企画が採択された場合、報道 機関等からの問い合わせに対 して、ご応募にあたり登録いた だいた個人連絡先および企画 の内容を提供してよろしいです か。	*	ラジオ ボタン	はい いいえ
29	応募の確 認	募集要項に記載の内容につい て了承し、応募いただける場 合は、「はい」をチェックしてくだ さい。	*	ラジオ ボタン	はい

付録3：サイエンスアゴラ企画タイトル・企画提供者名の表記の統一ルール

サイエンスアゴラにおいては、以下のような表記の統一ルールを採用しております。つきましては、公募企画応募の時点からご協力いただければ幸いです。

ルール1 法人格（国立大学法人、株式会社、特定非営利活動法人など）はすべて省略

ルール2 法人名・機関名と部署名の間には半角スペース挿入

→部署名が複数続く場合は、見やすさの観点から適宜、半角スペースを挿入する。

ルール3 カタカナ・英数字に関する全半角ルール

→スペースは半角とする。

→記号は全角とする。記号とは、丸括弧（ ） かぎ括弧「 」 中点・ 句点。

読点、 感嘆符！ 疑問符？ チルダ～ スラッシュ／ 演算子×など。

ルール4 企画タイトルにサブタイトルがある場合の表記

主タイトル 半角スペース チルダ サブタイトル チルダ

例）光の色彩 ～視覚で楽しむ炎色反応～

ルール5 その他

- ① タイトル全体がかぎ括弧「 」等で囲まれている場合は、とる。
- ② 一重括弧なしに二重括弧が使われている場合は、一重括弧にする。
- ③ プレナリーおよびキーノートセッションは、プログラム上わかるように付記する。
- ④ 複数の企画提供者が同列で列挙されている場合は、読点で区切る。
- ⑤ 感嘆符、疑問符の後ろは、原則、半角スペースを空ける。

*こちらの統一ルールに沿っていないものは、サイエンスアゴラ事務局が適宜修正させていただきますのでご承知おきいただきますようお願いいたします。

参考2

○今後の予定

●幹事会

第214回幹事会	平成27年 6月19日(金)	<u>14:00から</u> ※大学教育の分野別質保証委員会(13~14時開催予定)に引き続き開催
第215回幹事会	平成27年 7月24日(金)	13:30から
第216回幹事会	平成27年 8月28日(金)	13:30から
第217回幹事会	平成27年 9月18日(金)	13:30から
第218回幹事会	(第170回総会中)	
第219回幹事会	平成27年10月30日(金)	13:30から
第220回幹事会	平成27年11月27日(金)	13:30から
第221回幹事会	平成27年12月18日(金)	13:30から
第222回幹事会	平成28年 1月29日(金)	13:30から
第223回幹事会	平成28年 2月26日(金)	13:30から
第224回幹事会	平成28年 3月24日(木)	13:30から
第225回幹事会	(第171回総会中)	
第226回幹事会	平成28年 4月22日(金)	13:30から
第227回幹事会	平成28年 5月27日(金)	13:30から
第228回幹事会	平成28年 6月24日(金)	13:30から
第229回幹事会	平成27年 7月29日(金)	13:30から
第230回幹事会	平成28年 8月26日(金)	13:30から
第231回幹事会	平成28年 9月16日(金)	13:30から
第232回幹事会	(第172回総会中)	

● 総会

第170回総会(第23期・第3回) 平成27年10月1日(木)～3日(土)

第171回総会(第23期・第4回) 平成28年 4月14日(木)～16日(土)

第172回総会(第23期・第5回) 平成28年10月6日(木)～8日(土)